

第27回衛生工学シンポジウムの開催について

拝啓 向暑の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当シンポジウムの開催に対し格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第27回となる「衛生工学シンポジウム」を令和元年10月31日（木）・11月1日（金）に開催します。会場は工学部フロンティア応用科学研究棟です。衛生工学・環境工学全般にわたる最新のトピックに関する議論、研究成果の発信、人的交流などを目的としたシンポジウムとなっております。多くの方のご参加をお待ちしております。

本年度も昨年度と同様に2日間での開催とします。1日目は研究発表、パネルディスカッション等から構成されるシンポジウム形式で開催します。「環境工学関連企業・団体の活動紹介」と次年度に修了を控えた「修士・博士学生による研究発表」については、2日目に集中開催します。詳細につきましては別紙の**公募要領**をご参照ください。

本シンポジウムでは、北大の研究を皆様に広く知って頂くためのセッションを含め、多くの方にご興味を持って頂けそうなプログラムを用意しております。本年度も**参加費を1000円**に据え置きます。従来から行ってきた一般研究発表・事例紹介についてもより一層の充実を目指しております。道内外の企業や自治体等から多くの発表申込をお待ちしております。特に、道内自治体からの事例紹介の発表申込を歓迎致します。このシンポジウムが契機となって、道内の衛生工学・環境工学に関連した産官学のネットワークが緊密になることを期待しております。

一般研究発表・事例紹介はハイブリッド形式で実施しますが、既発表の内容・ポスター等をお使い頂いても結構です。詳細につきましては別紙の**公募要領**をご参照下さい。

皆様お誘い合わせのうえ、衛生工学シンポジウムへご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

衛生工学シンポジウム実行委員会

委員長 松藤 敏彦

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学工学部環境工学コース内

ご不明な点がございましたら、衛生工学シンポジウム実行委員

木村克輝（電話：011-706-6271, Email: kkatsu@eng.hokudai.ac.jp）

までお問い合わせください。シンポジウムの情報を、本学環境工学ホームページにおいて随時更新しております（<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/course/hygienv>）。ぜひこちらもご参照ください。

1 日目（10 月 31 日（木））

9:00～10:10：北大環境工学新任教授による研究展望紹介

北大環境工学コースには、3 人立て続けに教授が着任しました。新しく北大環境工学コースに着任した教授 3 人がそれぞれの研究展望を紹介し、未来の都市像・環境工学が向かうべき方向性についての提案を行います。

（登壇予定者：石井一英、木村克輝、佐藤久）。

10:20～12:00：一般研究発表・事例紹介

3 分間（予定）の口頭発表の後、フロアでポスター発表を行います（ハイブリッド形式）。

13:00～14:30：企画セッション「環境分野における AI 活用の可能性」

（企画・司会：北大 白崎伸隆、北海学園大 安藤直哉）

将棋やチェスのプロと対戦をしたり、人と会話ができるロボットが開発されたり、乗り物の自動運転が可能になったりと、今や人工知能（AI：Artificial Intelligence）の技術は様々な分野で活躍を見せており、AI の話題が連日のようにニュースに登っています。また、携帯・パソコンの入力文字の変換予測や検索予測に加え、お掃除ロボットや接客ロボットなど、身近なところにも AI の技術が広く普及しており、我が国が抱える人材不足の問題解決の糸口としても考えられています。このセッションでは、今後益々の発展が期待される AI 技術とそれに関連する情報技術について、環境分野における最新の活用例をご紹介頂くとともに、今後の活用の可能性について議論していきます。

講演者

北海道大学大学院 情報科学研究科 准教授 飯塚 博幸 氏

この他 3 名からの話題提供を予定しております。

14:45～17:15：特別セッション「北海道の持続可能な発展に向けて～地域循環共生圏の形成による資源・エネルギーの地産地消の推進～」

北海道は食や自然、エネルギーの宝庫であり、地産地消はもとより地域外への経済効果も期待できます。人口減少が進む中でも持続可能なまちづくりが可能であり、北海道は住みやすい豊かな地域になり得ると考えられます。

経済産業省と環境省が共同で、「地域循環共生圏の形成と分散型エネルギーシステムの構築に向けた連携チーム」を発足させ、地域の活性化と経済循環が図られる「地域循環共生圏」の形成を目指しています。北海道はこれを先導する地域として大いに期待されています。

本セッションでは環境省の担当者や、地方創生に積極的に取り組んでいる自治体等を招き、北海道における地域循環共生圏の形成に関する情報提供やディスカッションを行います。

○第1部 基調講演 14:45-16:00

講演予定者

- ・環境省大臣官房政策立案総括審議官（総括、大臣官房担当） 和田 篤也 氏
- ・石狩市企画経済部企業連携推進課長 堂屋敷 誠 氏
- ・下川町環境未来都市推進課 SDGs 推進戦略室長 簗島 豪 氏

○第2部 パネルディスカッション 16:15-17:15

(1) 北海道及び民間事業者からの情報提供

予定者

- ・北海道環境生活部長 築地原 康志 氏
- ・JA 阿寒 参事 田中 義幸 氏

(2) パネルディスカッション

(コーディネーター：北大 石井一英)

環境省、北海道、石狩市、下川町、JA 阿寒

17:30～19:00：懇親会

工学部食堂

会費：3,000 円（予定）

2 日目（11 月 1 日（金））

9:00～10:00 北大環境工学コースの最新研究成果

本コース研究室の最新研究結果を、修士課程 1 年及び博士後期課程の学生がポスター形式により発表します。大いに交流を深めて頂き、ご助言を頂ければと存じます。

10:15～17:00 衛生工学・環境工学関連企業・自治体の活動紹介・パネル展示

（発表件数に応じて、時間は変更になるかもしれません）

各企業・自治体ごとに数分のパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行って頂いた後、会場を移動してパネル展示による説明を行って頂きます。就職活動を控えた学部 3 年生、修士 1 年学生に加え、企業・業界研究やインターンに興味がある現役学生（2 年生、4 年生）が多数参加しますので、ご活用頂ければと存じます。

今回のイベント実施に伴い、ここ数年 3 月に開催してきた「環境工学コース産官技術フォーラム」は開催しないことになりました。